

Case Study 4

社会福祉法人 藹藹会

すべての利用者に安心と安全を！

Data

対象事業：障害福祉サービス

対象リスク：大規模地震

被災シナリオ：栃木県内及び隣県において震度6強の地震発生

事業継続策：中核事業の早期復旧によるサービスの提供



企業名 社会福祉法人 藹藹会
代表者名 山村 達夫

Q 御社の事業内容は？

障害のある方やそのご家族の生活・介護を支援する施設を管理・運営しています。施設入所支援、生活介護、短期入所事業、日中一時支援等の事業を行っています。

Q 今回BCP策定に取り組まれた理由を教えてください。

東日本大震災では、利用者、職員、施設内外への被害はごく小さいものでした。しかし、その経験から、職員一人一人の取るべき行動を明確にしなければならないこと、そして災害時に地域の福祉サービスを必要とする方々を受け入れることができる体制が必要であると感じたため、BCP策定に取り組みました。

Q 策定したBCPの主な内容（ポイント）を教えてください。

まず、施設利用者と職員の人命を第一に考えました。その後、施設利用者や福祉サービスを必要とする地域の方々に、早急に福祉サービスを提供することができる体制を作ることが主な内容となっています。

Q BCP策定によって得られた気づきがありましたか？

災害時には施設の利用者だけではなく、地域の被災者も受入なければならないため、短期入所事

業の復旧が急務になることが確認できました。また、建物の耐震強度が強いため、今後は地域の福祉避難所としての役割を果たすことが可能であると思いました。

Q 今後の課題と方向性について教えてください。

職員の年齢層が幅広いので、簡単に安否確認ができるシステムの導入を検討しています。また、災害時すぐに行動がとれるような携帯マニュアルを作成していこうと考えています。

Q BCPを策定した感想をお願いします。

BCPを策定する中で、施設の現状を知ることができました。まだ整備できていない職員行動基準や初動態勢の部分を完成させ、全職員への周知を目指して行きたいと思っています。

商号	社会福祉法人藹藹会
本社所在地	栃木県宇都宮市古賀志町 1964-12
設立	平成12年4月1日
資本金	0円
従業員数	80名
代表者	山村 達夫
事業内容	施設入所支援、生活介護、短期入所 地域生活支援事業
URL	aiaikai@eagle.ocn.ne.jp